

教育学科

1. 教育研究上の目的

教育学科の教育目標は、教育及び社会に関する幅広い知見と教育に関する専門的な技能を獲得させ、発達の多様な可能性を探求・研究することである。次代を担う人々の成長を促進し共生社会を形成・創造するための資質・能力をもった人材を育成することを目指す。

2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育学科では、履修規定に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、下記の能力を備えていると判断した場合に、「学士（教育学）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1. 教育及びそれを取り巻く社会、教職に関する幅広い知識を有し、教育活動に取り組む上で十分な技能を身につけている。特に、教育学全般に関する知識及び小学校を中心とした学校教育に関する知識を有し、生涯学習社会における各種学習機会及び学校教育に関わることが出来る力量を形成している。

（思考・判断・表現）

2. 教育現場における諸課題を的確に捉え、その解決に向けた方策を専門的知見に基づき考え、周囲と協働しながら判断し、的確に遂行するとともに、その過程や結果を適切に表現することができる。

（関心・意欲・態度）

3. 自己教育力を持ち、自らも学び続けながら、主体的・対話的な学びを重視した教育活動を実践する意欲を持っている。

3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

教育学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成します。

（教育内容）

1. 専門科目は「教育基幹科目」「教育創造科目」「免許関連科目」の3つの群で構成する。教育学及び教育実践一般に関わる内容を修得するために、教育基幹科目を配置する（知識・技能／思考・判断・表現）
2. 教育の現代的課題に関する知識・技能及び教育実践における表現技法等を修得するために、教育創造科目を配置する。（知識・技能／思考・判断・表現）
3. 小学校教員として必要な知識及び力量を形成するために、免許関連科目を配置する。また、免許関連科目の単位数は卒業に必要な単位数の半数以上になるようにする。（知

識・技能／思考・判断・表現／関心・意欲・態度)

(教育方法)

1. CAP制を実施し、1年次から卒業年次まで、卒業のために修得が必要な科目の履修登録の上限を設け、それぞれの科目に十分な学修時間を確保できるようにする。
2. 学生の主体的学修を支援できるよう、アクティブ・ラーニング等の教授手法を積極的に取り入れる。
3. 少人数教育を演習、実習等で実施し、学生の能力・資質に応じた学修ができるようにする。
4. 準備学習（予習・復習）の内容と時間をシラバスに明示し、学生が授業の予習・復習や応用的活動を通じて自律的な学修ができるようにする。
5. 教員のオフィスアワーを設けることで、毎週特定の時間帯に、学生は自由に教員に授業内容の質問をすることができ、履修計画や就職相談など、様々な相談にきめ細かく応じる。
6. 学年担任制、ホーム担当制（縦割り、8つのホーム）を設け、各学年・各ホームに専任教員を配置することで、きめ細かい指導を行うようにする。さらに、3年生以上はホームとは別にゼミ担当教員が指導を行い、個別及び協同学習を進める。
7. 講義型、演習型をバランス良く配置し、特に演習型では体験型の学習（初等教育実習、模擬授業、自然体験・社会体験等）を多く取り入れ、小学校教員としての力量形成を重視する。

(教育評価)

1. 教育学科のカリキュラムの評価は、卒業・進級判定、科目ナンバリング、GPAの活用、在学生調査、シラバス記載内容等の実態把握に基づいて総合的に行う。
2. 学生個人の教育評価は、卒業要件単位数の充足、卒業論文等の評価、GPAによる判定、社会と関わる諸活動の成果等の実態把握に基づいて総合的に行い、学修支援に生かす。また、教育・教職に関する幅広い知識・技能、思考力・判断力・表現力等の力量、主体的に学習に取り組む態度など、多様な観点から学習成果を評価する。そのため、ペーパーテストやレポートだけでなく、実技テスト、発表など多様な評価方法を用いる。

4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、地理歴史・公民・数学について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している（一般選抜コア）。

2. 高等学校までの履修内容のうち、外国語、数学、理科について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している（一般選抜プラス）。
3. 学校教育を中心とした教育的事象に強い関心を持ち、教育学科で学ぶために必要な高等学校卒業相当の知識を有している（学校推薦型選抜（指定校・公募制）及び内部進学）。
4. 高等学校までの履修内容のうち、国語、英語、地理歴史・公民、数学、理科について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している（共通テスト）。

（思考・判断・表現）

5. 事象を多角的に考察し、的確に判断し、自分の考えを他者に明確に伝えることができる能力を有している。

（関心・意欲・態度）

6. 教育や社会に対する知的好奇心があり、将来教育活動に関して取り組もうとする意欲と、他者と積極的に協働しながら問題解決しようとする態度を有している。

以 上